


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成26年2月17日

山北町議会議長 池谷 荘次郎 殿

受付番号	第7号	質問議員	12番	鈴木 登志子 
件名	健康寿命への更なる延伸対策を			
要 旨				
<p>2013年8月、厚生労働省は『国民の健康寿命が延伸する社会』に向けた、予防・健康管理に係る取組みの推進』をしていくと発表された。それに伴い神奈川県においても「健康寿命日本一を目指す」を重要事業としている。誰もが最期を迎えるまで健康でいきいきとした生活を送りたいと思っている。</p> <p>2010年の厚生労働省の調査では「平均寿命と健康寿命の差」が、男性で約9年、女性で約12年の差があるとされている。健康寿命が延伸されれば当然医療費、介護費は削減されていく。山北町の超高齢化に達している現状の中、健康寿命を伸ばしていく為には、町民の健康推進は喫緊の課題と捉えられる。健康寿命への更なる対策について質問致します。</p> <p>①町民が健康的な生活習慣を身につけ、「健康寿命」を伸ばせるようにと、平成23年度(2011年)に健康増進計画が策定されている。計画評価では、「計画の円滑な推進を図るために、毎年取り組み状況を把握する」とあるが、3年経過した状況と成果を伺う。</p> <p>②馴染みある音楽に動きやすく覚えやすい振り付けの山北町オリジナルの「健康体操」を作り、運動推進につなげてはどうか。</p>				

③厚生労働省が提唱している『国民の健康寿命が延伸する社会』の構築での主な  
取組み内容の中、認知症早期支援体制の強化が位置づけられている。年々増え  
続ける認知症、全国での認知症数は462万人と言われている。  
また、65歳以上の1/4が認知症ともされているが、山北町での状況はど  
うか。支援体制もあわせて伺う。